

## (1月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
みかん類		16,753	110	17,869	225	70	199	-	-	静岡産(約4割)、和歌山産(約2割)、長崎産、山口産、熊本産などが出回る。台風被害の前年に比べ今年度は表年で生育順調・肥大回復傾向にあり、入荷量は前年比1割増の見込み。価格は、入荷増と食味良好だが小玉比率が高く、高かった前年に比べ3割減の見込み。
りんご類		5,528	100	5,618	287	80	240	172	2.9	青森産(約8割)が中心となり、秋田産、山形産、岩手産、長野産が出回る。品種はふじを中心に王林、ジョナゴールドなどとなる。産地の在庫量は前年並で、市況を見ながらの入荷となり入荷量は前年並。価格は前月に続き前年比安の展開となり、前年比2割減の見込み。
りんご(ふじ)		4,675	100	4,517	279	80	238	153	0.3	青森産(約8割)が中心となり、秋田産(約1割)、山形産、岩手産、長野産が出回る。産地の在庫量は前年並で、市況を見ながらの入荷となり入荷量は前年並。価格は前月に続き前年比安の展開となり、前年比2割減の見込み。
いちご類		4,356	95	4,427	1,195	100	1,236	-	-	栃木産(約4割)、茨城産、佐賀産、福岡産、静岡県産が出回る。品種はとちおとめ、あまおう、さがほのか、章姫が主となる。栃木産ととちおとめは12月の低温の影響で生育がやや緩慢となっている。茨城産ととちおとめは一部で果実の肥大と着色の遅れが見られる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。
メロン類		709	80	788	611	120	803	-	0.1	熊本産(約4割)、静岡県産(約2割)、宮崎産、高知産などが出回る。品種はアールスメロンが主となる。生育は12月の低温で小玉傾向で生育遅れも見られる。原油高騰による生産費増と近年1~3月の価格不安定もあり作付面積が減少。入荷量は前年比2割減。価格は入荷減により前年比2割増の見込み。
ほしがき		471	130	541	1,256	80	1,128	5	1	福島産(約5割)、長野産(約2割)、山梨産(約1割)、山形産、中国産などが出回る。福島産は着色遅れで年内出荷が遅れ年明けは大幅増。長野産は内部乾燥に時間がかかり年内出荷量は前年並だったが、年明けは大幅増。入荷量は前年比3割増、価格は入荷増により前年比2割減の見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
キーウイ		414	130	595	416	80	312	1	0.1	愛媛産(約4割)、福岡産(約1割)、和歌山産(約1割)、佐賀産、わずかながら山形産も出回る。愛媛産は小玉傾向だが前年のような台風被害もなく生育は概ね順調となっている。外観、内容等品質の仕上がりが良好で正品率も高くなっており、入荷量は前年比3割増となる見込み。価格は前年高かったことと入荷増により前年比2割減の見込み。
かき類		252	150	461	371	70	325	1	0.3	福岡産(約7割)中心に、岐阜産(約1割)、鳥取産などが出回る。品種は富有が主となる。冷蔵物となり、小玉傾向だが品質良好。入荷量は販売進度の遅れと前年が台風被害だったことから5割増の見込み。価格は入荷量増と前年高値だったことから前年比3割減の見込み。